

記入例

収入状況報告書

令和 6 年 6 月 12 日

○で囲んでいる太枠内のみを、例にならい記入してください。

○収入の種類に応じて、以下の書類も記入してください。

- ①給与収入、年金収入及びその他収入の場合 → 「収入・所得見込額報告書」
②事業・営業収入または不動産収入の場合 → 「収支内訳書」

【A】・【B】両方の所得（※）があり、その合計額が10万円を超えている場合（※【A】・【B】それぞれが10万円を超える場合は、10万円が上限）
→ 10万円を超える額は、所得金額調整控除として、【A】から控除できる。

被保険者氏名（世帯主）	守口 もり吉	所得（収入）見込額は前年中の所得（収入）金額と変わりはありません（該当の場合、右欄に○と記入）
前年中の合計所得金額	① 2,000,000 円	

収入の種類	収入見込金額（年額）	経費見込金額（年額）	所得見込金額（年額）
給与	② 円	円	【A】 円
年金	円	円	【B】 円
営業（事業）	③ 円	円	円
不動産	④ 円	円	円
計			円

所得（収入）見込額が、前年中の所得（収入）金額と変わらない場合は、ここに○を記入してください。

【A】 + 【B】 の合計額
[a] 円
↓
[b] = [a] - 100,000円
調整控除額 [b] 円
↓
[c] = ([a] - [b]) + 【B】
調整控除後の所得 [c] 円

被保険者氏名（世帯員）	守口 ハナコ	所得見込額は前年中の所得金額と変わりはありません（該当の場合、右欄に○と記入）
前年中の合計所得金額	⑥ 円	

収入の種類	収入見込金額（年額）	経費見込金額（年額）	所得見込金額（年額）
給与	円	円	円
年金	円	円	円
営業（事業）	円	円	円
不動産	円	円	円
計	円	円	円

世帯員の収入も減少している場合は、収入・所得見込額報告書（給与収入の場合）と、給与明細書等の必要書類の提出が必要です。

【A】・【B】の合計額
[a] 円
↓
[b] = [a] - 100,000円
調整控除額 [b] 円
↓
[c] = ([a] - [b]) + 【B】
調整控除後の所得 [c] 円

被保険者氏名（世帯員）	守口 太郎	所得見込額は前年中の所得金額と変わりはありません（該当の場合、右欄に○と記入）
前年中の合計所得金額	⑧ 円	

収入の種類	収入見込金額（年額）	経費見込金額（年額）	所得見込金額（年額）
給与	円	円	【A】 円
年金	円	円	【B】 円
営業（事業）	円	円	円
不動産	円	円	円
計	円	円	⑨ 円

【A】・【B】の合計額
[a] 円
↓
[b] = [a] - 100,000円
調整控除額 [b] 円
↓
[c] = ([a] - [b]) + 【B】
調整控除後の所得 [c] 円

<担当者記入欄>

※WizLIFEのハードコピー（世帯画面・世帯主及び世帯員の所得画面）を添付すること。なお、擬制世帯主は保険料率計算の対象としないこと。

〔計算等の根拠〕

○ 所得減少による減免

※前年中の所得 ①+⑥+⑧= () 円

※所得見込額 ⑤+⑦+⑨= () 円

所得金額調整控除がある場合は、控除後の額で合算してください。

$\frac{\{ \text{前年中の所得} \} - \{ \text{所得見込額} \}}{\{ \text{前年中の所得} \}} \times 100 = \text{所得減少率}$

〔備考〕

〔特記事項〕

減免率

%

窓口受付
担当者

審査
担当者